



環局第3号
令和4年6月2日

リニア中央新幹線建設促進期成同盟会

会長 大村秀章 様

静岡県知事 川勝平太

<再申請>

リニア中央新幹線建設促進期成同盟会への加盟

リニア中央新幹線整備についての本県の基本姿勢が整備の促進であることを改めて申し上げます。

なによりも、本県にとって、リニア中央新幹線の整備は、東海道新幹線の活性化につながります。すなわちリニア中央新幹線の開業後は、「のぞみ」機能がリニアに移ることになり、「ひかり」と「こだま」の増発・増停車により、静岡県内からの東西への移動がはるかに促進されます。

それにとどまりません。リニア中央新幹線の整備は、沿線自治体の今後の発展にとっても、きわめて重要であると認識しています。

同じ「ふじのくに」の山梨県にとっては、東京への高速アクセスは悲願であり、甲府から東京までの整備促進に全面的に賛同します。

また、飯田市に設置するリニア長野県駅（仮称）は、三遠南信自動車道によって、本県の北遠地区とつながります。北遠地区の本県民（特に水窪の住民）が、リニア長野県駅（仮称）を利用し、中津川を經由、名古屋へ至る至便のルートになります。それゆえ名古屋から飯田までの整備促進に賛同します。

さらに、名古屋以西の三重県、奈良県、大阪府についても駅位置及びルートを早期に確定できるために本県としてできる限り国への働きかけを強めて、整備促進に寄与してまいります。

なお、本県にはまだ水資源・生物多様性・残土処理などへの影響回避という深刻な課題が残っております。本県は、整備を促進するため、JR東海との対話を国と協力して進めていきます。

以上、ここに改めて、リニア中央新幹線の整備促進に向けて、建設促進期成同盟会へ加盟いたしたく申請するものであります。